



一歩前進

第6号
12月2日発行
文責: 林

重点目標: 自分も人も大切に考動(こうどう)する笑顔いっぱい湯浦っ子
育てたい資質・能力: 共感力(やさしく) 探究力(かしこく) 協働力(たくましく)

湯小っ子の学び「人は人と出会って育つ」

10月から11月にかけては、たくさんの体験的な学習が実施されました。学校から外へ出ることによって得られる様々な人や事象との出会いがあり、そこで五感を通して学んだことが自らの生き方につながる道標となることがあります。子どもたちがその時に感じた素直な思いの一部を紹介します。ホームページを見ていただきますと、さらに細かい日々の学習の様子が分かります。行事予定とともにご覧になってください。

★修学旅行(6年生)

- ◎フィールドワークや資料館で建物や実物を見て、改めて戦争や原爆の恐ろしさと平和の大切さを感じました。二度と戦争をしてはいけなかったと思いました。
- ◎平和祈念像は実際に見ると大きく迫力がありました。また、像の下にある水の説明を聞き、亡くなった人が天国でおいしい水をたくさん飲めたらいいな、と思いました。
- ◎長崎ならではの料理や夜景はとても印象に残っています。また、班行動の難しさを感じることもありましたが、時間を守って行動することができて良かったです。
- ◎ハウステンボスで食べた佐世保バーガーが今まで食べてハンバーガーの中で一番おいしかったです。
- ◎このような安全で楽しい修学旅行はガイドさんや先生方、そして家族のおかげで、あたり前と思わず、感謝したいと思います。



★芦北町合併20周年記念(6年生)

- ◎中学生の歌声がとても綺麗で心に残りました。指揮者も体全体を使っていて、すごいと思いました。
- ◎書道パフォーマンスはとても迫力がありました。
- ◎「ふるさと」の最後に手話をするこゝで、歌詞に込められた思いを人に届けたいという気持ちが強くなりました。
- ◎ひょっとこ踊りの面白さ、手話の素晴らしさ、鉄砲隊の迫力など、地域の人々の頑張りに感動しました。
- ◎手話サークルつばさの発表を見て、耳が不自由な人は、このようにして思いを伝えていることを知り、私もやってみたいと思いました。
- ◎合唱コンクールのコーラスは、とても大きな声で、揃っていました。たくさん練習したのだと思いました。



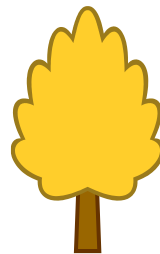
★陸上記録会(5年生)

- ◎体育の時間だけでなく、家でも練習をしていてよい結果が出てうれしかったです。
- ◎バトンの渡し方を先生に教えてもらい、何度も練習して本番で上手く渡すことができました。
- ◎スタート前、名前を呼ばれた時に、湯浦小の友達や先生方から応援の声をもらい、とてもうれしかったです。



★町探検（2年生）

- ◎歩いている時に、八百屋のおじいちゃんにミカンをもらいました。うれしかったです。
- ◎ちいきの人にあいさつができてよかったです。
- ◎道路や線路をわたる時は、注意をしてわたることができました。



★湯小っ子フェスティバル（5・6年生）

- ◎半導体は、機械でとても細かく作っており、畳は、人の力で一から作っており、どちらもすごく時間のかかる仕事であると思いました。
- ◎薬剤師は、患者一人一人に量と種類を間違えずに用意することは大変だな、と思いました。
- ◎整備士の仕事で学んだパンク修理の仕方を家でもやってみたいと思います。

★音楽会（3・4年生）

- ◎歌は歌詞を間違えないように指揮者の古閑先生を見て心をこめて歌うことができました。
- ◎ボディパーカッションは、不安だったけど、練習からみんなで教え合い、協力し合ったからこそ、素晴らしい発表になったと思います。
- ◎大野小の発表から、自然の素晴らしさを感じました。
- ◎津奈木小はたくさんの楽器を使っていてすごいと思いました。
- ◎音楽は、みんながいるから音が出せるのだな、と思いました。



★保育園児との交流会（1年生）

- ◎迷路とマラカスの遊び方を教えました。遊んでいるとき笑ってくれました。私も楽しくなりました。
- ◎あれんくんが、どんぐり迷路を選んで、4回もゴールしたのですごいと思いました。



うちの子にかぎって…ご注意ください!!

…スマートフォンやゲーム機で、お子さんはどんなことをしていますか？

次のような言葉をごぞんじでしょうか。

「ざ○キャラ」「ついほう」…

これは、本校の子どもたちも多くプレイをしている人気のオンラインゲーム上の言葉です。そのゲームの中では、クラブという小グループをあるリーダー（子どもの場合もある）のもとにつくることができ、招待された人はそのクラブのメンバーになれるそうです。また、ゲームの中では自分なりにキャラクターを複数つくれるそうですが、その中に「ざ○キャラ」なるものをつくれるそうです。さらに、リーダーの権限でメンバーをグループに入れないように「ついほう」することもできるようです。

子どもたちは何の迷いもなくゲームを楽しんでいるのですが、時には悪口を言い合い（書き込み）、トラブルになります。さらに、ゲームを進めるなかで、「ざ○キャラ」という名称、「仲間外し」や「人のランク付け」など人権的に問題のある言葉や行いを何の疑問もなく話し、操作することで身に付けてしまう恐れが多分にあります。

芦北管内でも、SNSやオンラインゲームに係るトラブルは頻繁に起こっています。「うちの子にかぎって」ではなく、そのような情報ツールの活用を許可している保護者として、その使用法については必ず把握されてください、取り返しのつかない事件に巻き込まれる前に。

学校でも、情報機器の扱いや注意すべき事項については、繰り返し指導してまいります。

